

VIII 農村振興



世界農業遺産・世界かんがい施設遺産

世界農業遺産（GIAHS：ジアス）は、社会や環境に適応しながら、何世代にもわたり形づくられてきた農業上の土地利用、伝統的な農業とそれに関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農業システム（林業及び水産業も含む）を保全し、次世代に継承するため、平成 14 年に国際連合食糧農業機関（FAO）が創設した制度です。

日本では、15 地域が認定されており、岐阜県長良川上中流域は平成 27 年 12 月 15 日に認定されました。世界では 26 か国 86 地域（令和 5 年 11 月末現在）が認定されています。

○「清流長良川の鮎」の特徴

長良川は、流域に約 86 万人を抱え、都市部を流れる川でありながら豊かな水量と良好な水質を誇り、鮎を中心とした内水面漁業が盛んな地域です。その長良川は流域の人々のくらしの中で清流が保たれ、その清流で鮎が育ち、清流と鮎は地域の経済や歴史文化と深く結びついています。

長良川におけるその循環は、人の生活、水環境、漁業資源が連環している世界に誇るべき里川のシステムです。



○推進体制

・世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会（設立：平成 26 年 7 月 24 日）

構成員：岐阜県、岐阜市、関市、美濃市、郡上市

長良川漁業対策協議会、岐阜県農業協同組合中央会、岐阜県森林組合連合会
一般社団法人岐阜県観光連盟、岐阜県商工会議所連合会

○「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承

(1) 鮎のブランド振興・消費拡大

◇世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」

「清流長良川の鮎」の普及啓発や保全・継承に繋がる商品を認定しました。

(認定数：56 商品（令和 5 年 12 月末現在）)

【認定商品数及び事業者数の推移】

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
認定商品数	35	106	106	106	100	52	55	56
事業者数	21	35	35	35	33	32	34	34

※令和 2 年度に認定制度を見直し

◇鮎料理の新メニュー開発促進

一般社団法人岐阜県調理師連合会等と連携して新たな鮎料理を 3 品開発しました。また、その新たな鮎料理のお披露目とともに、鮎の創作料理・伝統料理の試食や料理人、漁師、関係者が意見交換する「鮎料理フェア」試食・交流会（令和 5 年 7 月 4 日：ぎふワールド・ローズガーデン）を開催しました。



「鮎料理フェア」試食・交流会

◇「清流の国ぎふ」鮎を食べよう！キャンペーン

鮎料理提供店や鮎の販売店と協力し、鮎料理の提供や鮎の消費・販路拡大となる様々なイベントを開催しました。

<令和5年度の主な実施内容>

○鮎料理フェアの開催

- ・鮎料理提供店による鮎料理フェア【7月5日～10月31日】

※登録店啓発用のぼり旗及び卓上のぼりによるPRや特設HPによる店舗PR

- ・「清流の国ぎふ 鮎料理フェア」試食・交流会【7月4日】

○鮎の消費拡大イベントの実施

- ・県内ブランド鮎塩焼き屋台(清流長良川あゆパーク)【7月23日】
- ・鮎の塩焼き販売(岐阜シティ・タワー43内ビアガーデン)【7月1日～9月24日】
- ・鮎の塩焼き販売(土岐プレミアム・アウトレット)【7月23日】
- ・鮎の塩焼き定食の販売(県庁食堂)【7月21日】

○鮎の販路拡大イベントの開催

- ・鮎販売店による鮎販売フェア【7月5日～10月31日】

※登録店啓発用のぼり旗及び卓上のぼりによるPRや特設HPによる店舗PR

- ・鮎フェア(GIFTS PREMIUM、THE GIFTS SHOP、おみやげ川島店、道の駅白山文化の里長滝)【7月12日～31日】
- ・鮎料理レシピを活用した鮎の販売促進イベント(県内イオン：6店舗)
※味の素(株)協力のもと鮎料理レシピを開発

【登録店舗数】

鮎料理フェア：33店舗 鮎販売フェア：81店舗



鮎料理フェア登録店



鮎販売フェア(道の駅白山文化の里長滝)

(2) 鮎の関係人口の増加

◇清流長良川の保全・活用・継承への普及・啓発

「清流長良川の鮎」の世界農業遺産認定を記念して制定された「GIAHS 鮎の日(7月第4日曜日)」に、鮎や清流にスポットをあてたイベントを開催しました。清流長良川あゆパークにおいて、あゆつかみどり大会や県産ブランド鮎の塩焼き屋台、世界農業遺産パネル展等を行ったほか、岐阜シティ・タワー43や土岐プレミアム・アウトレット等で鮎の消費拡大イベントを実施しました。さらに、県内外の店舗や大手ECサイトを活用した「清流長良川の恵みの逸品フェア」も開催したほか、石川県等と連携した「ザ・いっぴんフェア」も開催しました。(参加人数：148,348名)

◇ふるさと教育

若い世代に GIAHS の価値を伝えるため、県内の小中高等学校、短大、大学に対して、出前講座の実施や講師の派遣を行いました。

【講師派遣実施校の推移】

	R3	R4	R5
実施学校数	3	18	16
内訳	小1中1大1	小13中2高1短1大1	小9中3高2短1大1

また、鮎や長良川に関する調査研究を行う高等学校を支援しました。

(支援対象校：岐阜農林高校、大垣北高校、郡上高校)

◇「清流長良川の鮎」プレーヤーズ

「長良川システム」の保全・活用・継承に向けた活動を実践する法人・団体等を 95 団体登録しました。(令和 4 年 1 月に、登録制度を変更(推薦による登録→申請による登録))

【登録団体数の推移】

(令和 6 年 3 月 1 日現在)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
登録団体数	57	61	88	88	89	89	89	90	95
うち新制度登録団体	-	-	-	-	-	-	18	30	38

また、「清流長良川の鮎」プレーヤーズの活動が活発に行われるよう、活動の実施に必要なとなる経費を支援する補助金を創設しました。(令和 5 年度)

【活動実施団体数の推移】

年度	R5
活動実施団体数	9

◇長良川システム技術継承事業(令和 5 年度)

漁業関係者などと連携して、「持続可能な内水面漁業の振興に関する研究会」を設置し、担い手が減少している鮎の人工ふ化放流技術継承研修(全 8 回(10 月～11 月))、溪流魚の新たな増殖技術に関する研修(11 月 6 日)や資源再生産に関わる人材育成及び鮎の集出荷システムの研修会(11 月 6 日)等を実施しました。

○国際貢献

◇内水面漁業研修センター

開発途上国における食料事情、特に内水面漁業分野での貢献を行うため平成 28 年に設立した「岐阜県内水面漁業研修センター」において、JICA の要請により、アフリカ、アジア及び中南米からの計 10 カ国から、各国の政府系職員各 1 名(計 10 名)を受け入れ、魚病診断、養殖場の水質管理及びナマズの養殖技術等についての研修並びに養殖場の視察等を行いました。(令和 5 年 6 月 20 日～23 日)

○世界かんがい施設遺産

世界かんがい施設遺産は、建設から 100 年以上経過し、かんがい農業の発展に貢献したもの等、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設を登録するために、国際かんがい排水委員会(ICID)が 2014 年に創設した制度で、平成 27 年 10 月に「曾代用水」が県内で初めて登録されました。

「曾代用水」は関市・美濃市の農地約 1,000ha を受益とする、延長約 17km の県下有数の基幹的農業用水路であり、約 350 年前に地元の豪農が私財を投じ、農家主導で建設された事業過程や、現在でも地域農業の発展に寄与し続けていることが評価されました。

<主な取組み等の状況>

- 平成 28 年 10 月 19 日 フィリピン、ベトナム、インドネシア各国政府職員視察
- 平成 28 年 11 月 9 日 皇太子同妃両殿下 行啓
- 令和元年 10 月 17 日 第 42 回全国土地改良大会
約 900 名が現地視察
- 令和 4 年 4 月 11 日 世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会に参加



曾代用水 杵之戸分水(関市)



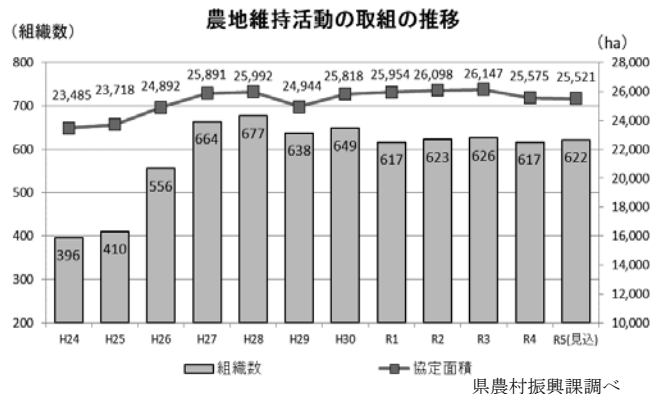
曾代用水 川湊公園(美濃市)

農 村 環 境

○農地維持活動の取組みは2万6千ha

地域住民などの参画を得て、農地や農業用施設などの資源の適切な保全管理を行うとともに、農村環境の保全にも役立つ地域ぐるみでの活動を支援しています。

令和5年度のこれらの共同活動は、622組織、約2万6千ha（認定面積）で取り組まれています。

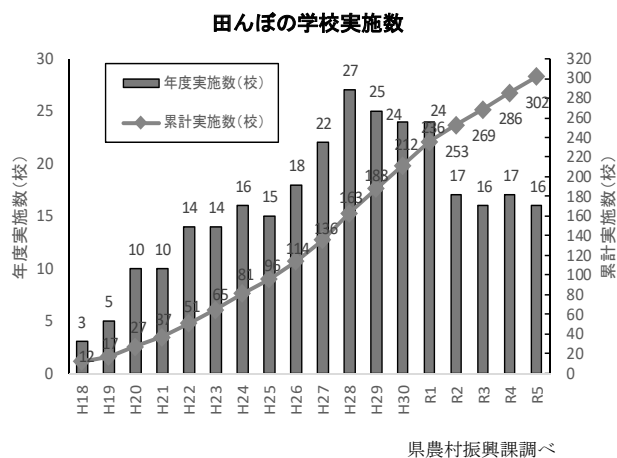


○ふるさと水と土指導員は29人

農地や農業用水路などの農業用施設の保全や地域住民活動の地域リーダーとして、現在県内各地で、29人(R5)の「ふるさと水と土指導員」が活動しています。

○田んぼの学校実施校は16校

将来を担う子ども達、地域住民などに、農業の大切さ、多様な生き物が生息する環境の大切さを伝えるために、生き物調査などの環境教育「田んぼの学校」を実施しています。



環境学習 (瑞浪市)



農業体験 (下呂市)

○水田魚道の設置は23箇所

「清流の国ぎふ」づくりの一環として「水みち」の連続性を通じて生物多様性を推進しており、水田が持っていた産卵・繁殖・育成の場としての機能の復元を図るために、水田と水路をつなぐ水田魚道の設置を推進し、効果検証を行っています。

令和5年度までに県内で23箇所に設置しており、フナやナマズなど1万尾以上の稚魚繁殖が確認できました。

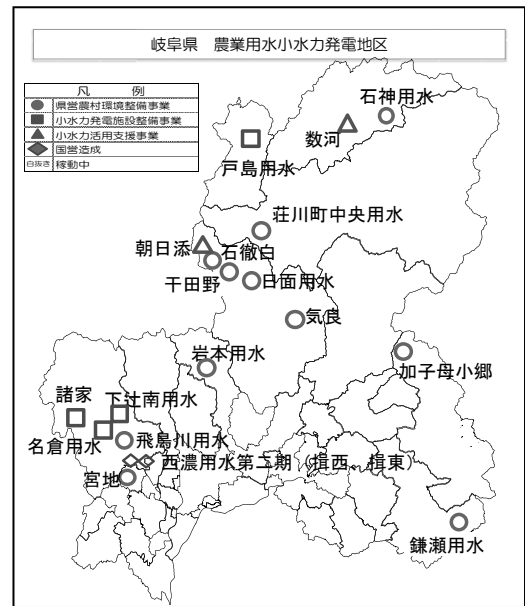


水田内で繁殖した稚魚

○農業用水を活用した小水力発電の導入推進

CO₂排出削減による地球温暖化防止の機運の高まりや東日本大震災の影響から、再生可能エネルギーに大きな関心が寄せられており、豊富な水資源を有する本県の特長から小水力発電に対する期待が大きくなっています。そのため、県では、地域資源の活用による地域振興を目指して、農業用水を活用した小水力発電の導入を進めています。

これまでに、平成26年2月の「加子母清流発電所」を始めとして、平成27～令和元年度に「石徹白清流発電所」ほか13施設、令和2年度に「荘川清流発電所」ほか3施設の稼働が開始し、合計19施設が稼働しています。



○農業集落排水処理施設の今後の推移

農村地域の農業用排水路の水質保全、農村環境の改善を図るため、県内の28市町で農業集落排水処理施設が整備され、現在183施設が稼働しています。

県内の農業集落排水処理施設は既に全整備を終えています。平成29年度に策定された「岐阜県汚水処理施設整備構想」では、将来の人口減少等を踏まえ、公共下水道等への統合により農業集落排水処理施設の施設数は今後減少する見込みとなっています。

○農業集落排水処理施設の汚泥リサイクル率は70.1%

環境問題が深刻化している中、農業集落排水処理施設から排出される汚泥の資源循環は持続的循環システムの構築に欠かせないものであり、コンポスト化施設の整備を推進しています。

令和4年度に発生した汚泥57,291m³のうち40,160m³が肥料や建設資材として有効に活用され、リサイクル率は70.1%となりました。

圏域別汚泥リサイクル率 (R5.3.31)

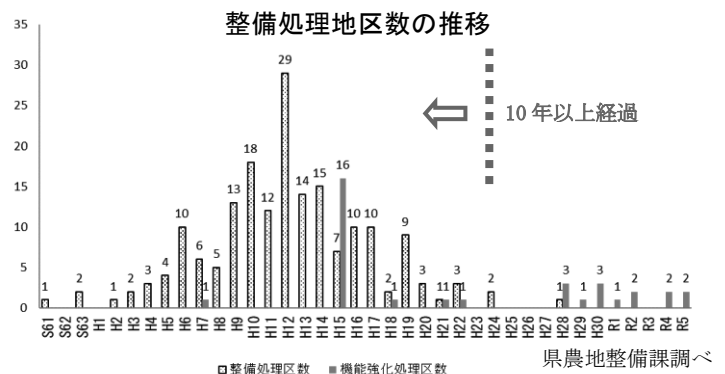
圏域名	汚泥発生量 (m ³)	リサイクル量 (m ³)	リサイクル率 (%)
岐阜	12,867	9,323	72.5%
西濃	12,682	12,083	95.3%
中濃	17,686	6,520	36.9%
東濃	4,782	3,773	78.9%
飛騨	9,274	8,461	91.2%
計	57,291	40,160	70.1%

県農地整備課調べ

○農業集落排水処理施設の長寿命化に向けた支援が必要

県内の農業集落排水施設は、令和5年度時点で183施設の内、1施設を除く182施設が建設後10年以上経過しているため、経年変化による機能低下とともに周辺環境の変化に応じた機能強化対策が必要です。

そのため、施設の機能診断及び整備構想の策定を行い、施設の長寿命化を含めた計画的な更新整備を推進しています。



県農地整備課調べ



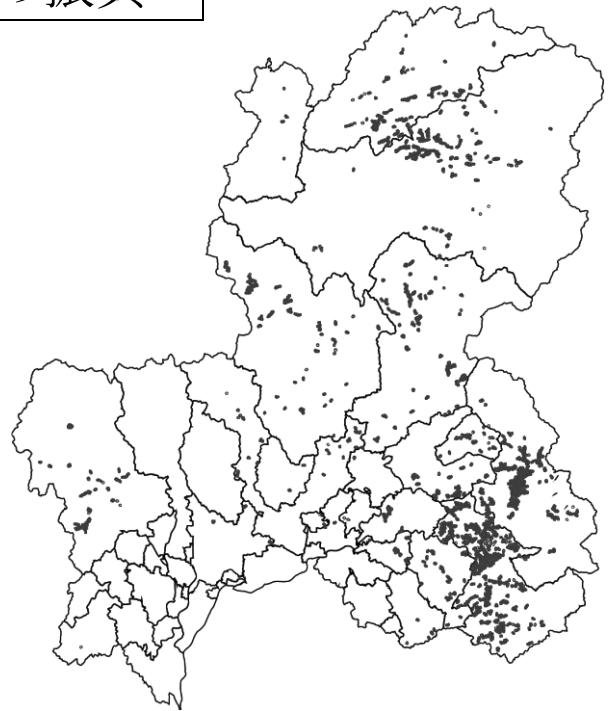
棚田地域の振興

○本県の棚田地域の現状

本県には東濃・飛騨圏域を中心に約 4,200ha（約 700 団地）の棚田があります。

棚田地域は生活条件等が不利な地形であることから、担い手不足や遊休農地の発生などの課題が他地域に比べて顕著です。また、地域の共同活動などにより支えられてきた多面的機能の発揮に支障が生じ、棚田の荒廃や農業集落の存続自体が危惧される状況にあります。

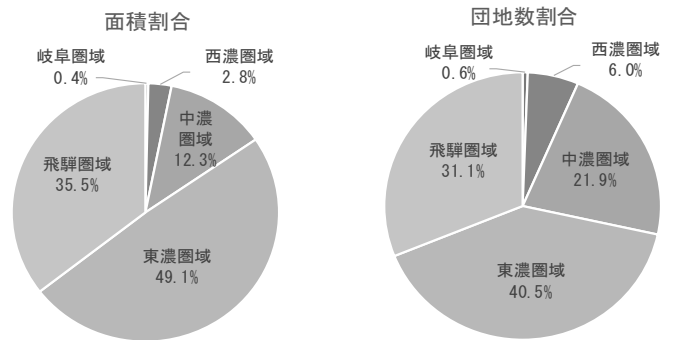
その一方、棚田地域においては、食を支えるだけでなく、棚田の叡智である石積の維持保全など、景観保全や文化の伝承に取り組む地域が多く存在しています。



○「岐阜県棚田地域振興計画」の推進

貴重な県民の財産である棚田の保全は、農産物の供給のみにとどまらず、様々な多面的機能の発揮や、棚田地域における関係人口の増加に繋がる重要な取組みとなることから、令和 2 年 3 月に棚田を核とした棚田地域の振興を図るため、県が全体で取り組むべき施策を示した「岐阜県棚田地域振興計画」を策定しました。

本計画に基づき、県をあげて取り組む「人」づくりを進め、併せて棚田地域をはじめとする中山間地域の生活環境や生産基盤を「保全」することで、棚田地域が置かれている状況の改善を図るとともに、条件不利地である棚田地域の人不足を補うスマート農業や、都市農村交流等を発展・強化することで「振興」を図り、希望が広がる棚田地域づくりを推進しています。



棚田分布状況（県農村振興課調べ）

<目指す将来像>

人

棚田地域を支えるひとづくり

棚田地域の活気の源となる人が確保されるとともに、棚田保全の新たな担い手が定着している。

保全

棚田地域を維持する環境づくり

棚田の保全及び地域社会の維持が図られているとともに、営農活動を支える生産基盤が保たれている。

振興

希望が広がる棚田地域づくり

棚田の新たな魅力の活用が推進されているとともに、ICT技術の導入による先進的な営農がなされている。

○指定棚田地域の指定状況

棚田等の保全を図るため、当該棚田地域の振興のための措置を講ずることが適当であると認められる地域を「指定棚田地域」とし、県の指定申請に基づき国が指定を行います。

本県では令和6年3月現在、6市町45地域が指定されています。

このうち、6市町9件（29地域）について指定棚田地域振興活動計画が策定され、国から認定を受けています。

○ぎふの棚田 21 選

本県では、21世紀の素晴らしい棚田を「ぎふの棚田 21 選」として19地区認定しており、いずれも美しい棚田景観が残されています。

また、棚田を保全するため、現在23の棚田保全活動組織が活動しています。

ぎふの棚田 21 選と棚田保全活動組織のある棚田 一覧

県農村振興課調べ

市町村名	旧市町村名	旧旧市町村名	棚田名称	棚田保全活動組織	
				棚田保存会	棚田地域振興協議会等
ぎふの棚田 21 選の棚田					
揖斐川町	春日村	春日村	貝原	貝原棚田保存会	揖斐川町貝原棚田地域振興協議会
郡上市	白鳥町	牛道村	三ヶ村・畑ヶ谷	三ヶ村棚田を守る会	六ノ里棚田振興協議会
				畑ヶ谷棚田を守る会	
郡上市	白鳥町	北農村	正ヶ洞	前谷棚田を守る会	前谷棚田地域振興協議会
八百津町	八百津町	八百津町	赤薙	—	—
八百津町	八百津町	八百津町	上代田	北山集落	—
中津川市	加子母村	加子母村	牧戸	(牧戸棚田保存会が右記に発展的解消)	牧戸棚田地域振興協議会
恵那市	岩村町	本郷村	大円寺	—	—
恵那市	恵那市	笠置村	栃久保	恵那市栃久保棚田保存会	—
恵那市	恵那市	中野方村	坂折	NPO法人恵那市坂折棚田保存会	中野方地域棚田振興協議会
恵那市	恵那市	三郷村	佐々良木西	—	—
恵那市	恵那市	三郷村	佐々良木東	佐々良木東棚田保全組合	—
恵那市	恵那市	三郷村	野井中・野井東	—	—
下呂市	下呂町	下呂町	小川	下呂市小川高洞棚田保存会	—
下呂市	下呂町	竹原村	乗政	—	三ツ石棚田連絡協議会
下呂市	金山町	下原村	福来	—	—
下呂市	萩原町	川西村	野上・尾崎	上野上棚田の里	—
高山市	久々野町	久々野村	ナカイ田	—	—
高山市	高山市	大八賀村	滝町	滝町棚田保存会	—
飛騨市	宮川村	坂上村	種蔵	種蔵を守り育む会	種蔵棚田連絡協議会
ぎふの棚田 21 選以外の棚田					
郡上市	郡上市	奥明方村	奥住小保木	—	奥住小保木棚田地域振興協議会
中津川市	福岡町	福岡村	はちたか地域	—	はちたか地域棚田振興協議会
中津川市	福岡町	福岡村	夏焼	—	夏焼地域棚田振興協議会
恵那市	恵那市	笠置村	猪狩	恵那市猪狩棚田保存会	—

○つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～

農林水産省では、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的機能に対する理解の促進を図るため、「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」として、全国271地区の棚田を認定しており、本県からは、7市町9地区が選ばれました。

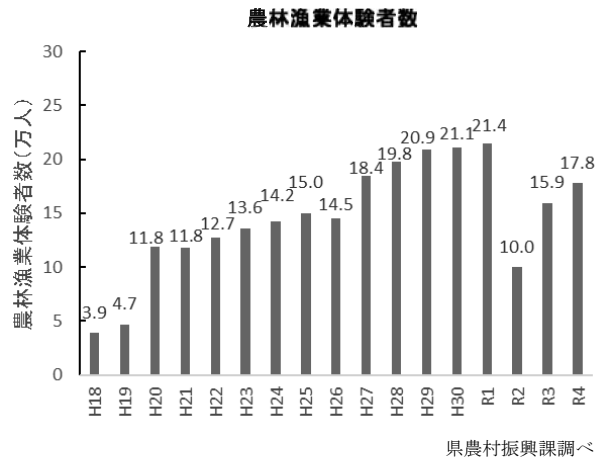
つなぐ棚田遺産 選定地区一覧

市町村名	棚田名	市町村名	棚田名
郡上市	六ノ里棚田（畑ヶ谷・三ヶ村）	恵那市	「日本の棚田百選」坂折棚田がある岐阜県恵那市中野方町の棚田群
郡上市	正ヶ洞棚田		
郡上市	奥住小保木棚田	下呂市	三ツ石棚田
八百津町	上代田棚田	高山市	滝町棚田
中津川市	はちたか地域棚田	飛騨市	種蔵棚田

都市農村交流

○農林漁業体験者数は 17.8 万人

農山漁村に滞在して農林漁業体験やその地域の自然や歴史・文化に触れ、地元の人々との交流を楽しむ余暇活動、いわゆるグリーンツーリズムが県内各地で取り組まれています。近年、都市住民の田園回帰の流れが活発化し、農村地域への注目度が高くなっています。岐阜県内の農林漁業体験者数は年々増加し、令和元年度にはピークの21万4千人まで達しましたが、令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大きく落ち込み、令和4年度は17万8千人まで回復しましたが、まだコロナ前の状況には戻っていない状況です。



○「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会

県では、グリーンツーリズムを推進するため、平成 17 年に市町村と連携して推進連絡協議を設置し、大都市圏での情報発信や受け入れ体制の整備などに取り組んできました。

平成 29 年には、「ぎふらしい」「ぎふならではの」のグリーンツーリズムを実現するため、県内のグリーンツーリズム実践者の発意により、民間主導の新たな推進協議会（「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会）が設立されました。グリーンツーリズム実践者、棚田保全組織、旅行会社、農業関係団体、市町村等で構成され、現在の会員数は 133 団体(令和 6 年 3 月末現在)です。



ネットワーク大会in郡上和良&西和良の様子

【「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会の主な取り組み】

- ・多言語対応グリーンツーリズム情報発信用 WEB サイト「ぎふの田舎へいこう！」や SNS、PR 動画を活用した岐阜県内のグリーンツーリズム情報の発信
- ・ぎふグリーンツーリズムネットワーク大会の開催
- ・農泊出前講座の開催
- ・農泊相談窓口による実践者支援
- ・新たな体験メニューやイベントを企画実践する組織への助成支援



情報発信 WEB サイト「ぎふの田舎へいこう！」

○岐阜県農林漁業体験施設登録制度の推進

岐阜県の豊かな地域資源を生かした農林漁業体験メニューを提供するなどの一定の基準を満たす施設を「岐阜県農林漁業体験施設」として登録しています。令和6年2月末現在の登録数は89施設となっており、令和5年度は新たに9施設を登録しました。

○グリーンツーリズムインストラクターの育成

県では、地域案内や体験指導を通じて地域の魅力を伝えるグリーンツーリズムインストラクターを育成しています。令和5年度は、美濃市においてインストラクター育成スクールを開催し、県内15名の実践者がグリーンツーリズムインストラクターに認定されました。

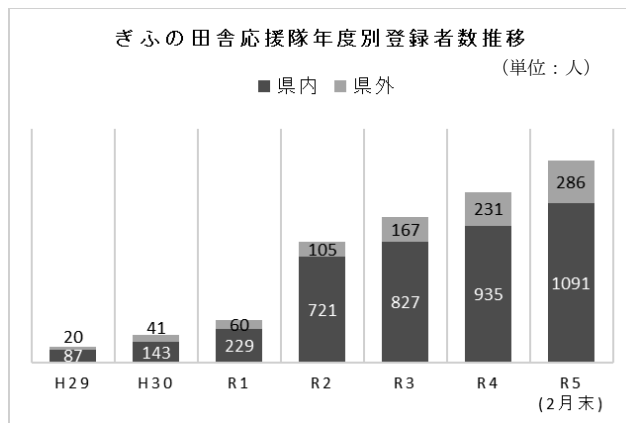
○農泊地域づくり

農村に継続的な関わりを持つ農的関係人口の拡大を図るため、県内各地の実践者に助言・指導を行う等のプッシュ型支援を通じて、特色ある農泊プログラムを実践する地域を令和5年度は10地域育成しました。

○ぎふの田舎応援隊

農村地域を将来にわたり守っていくため、都市住民等による農村地域の保全活動等に対する支援を行っています。ぎふの田舎応援隊員は、登録者数が順調に増加しており、隊員数は1,300人を超え、令和6年2月末現在1,377名となりました。また、指定棚田地域において刈払機を使用した除草作業を行うぎふの棚田応援隊についても、63名が登録しています。

令和5年度は2月末現在で43回の田舎応援隊の活動を実施し、延べ433人の参加がありました。また、棚田応援隊の活動を8回開催し、延べ33人が棚田における草刈りに取り組みました。



県農村振興課調べ



ぎふの田舎応援隊の活動

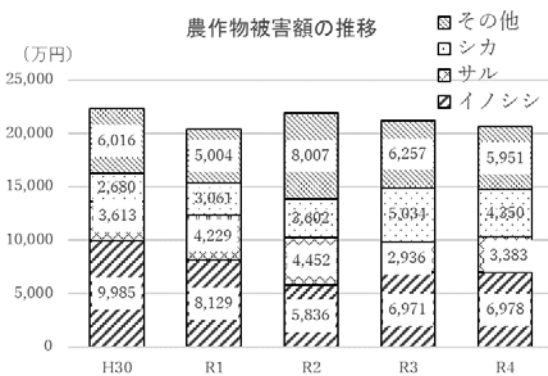


鳥獣等被害対策

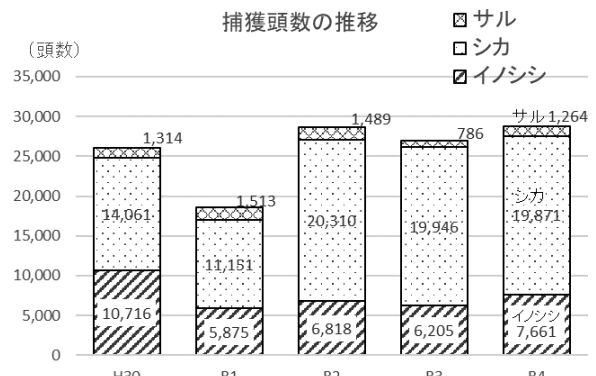
○農作物の被害額は2億662万円

野生鳥獣による農作物被害額は令和4年度においては2億662万円となり、前年度と比較して535万円減少しました。鳥獣の種類別では、イノシシによる被害が最も多く6,978万円、次いでニホンジカ4,350万円、ニホンザル3,383万円の順となっており、これら主要3獣種による被害は県全体被害額のおよそ7割を占めています。

令和4年度における主要3獣種の県内捕獲実績は、イノシシ7,661頭、ニホンジカ19,871頭、ニホンザル1,264頭となっており、鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動や地域ぐるみによる捕獲体制づくりのほか、防護と捕獲が一体となった総合的な被害防止対策を推進しています。



県農村振興課調べ



県環境生活政策課調べ

○特用林産物の被害額は82万円、森林の被害面積は644ha

令和4年次の獣によるしいたけなど特用林産物の被害額は81.5万円で、前年の61.9万円から被害額は増加しました。また、令和4年度の獣の食害や皮剥ぎなどによる森林被害面積は644ha、被害材積は7,664m³、小径木等の被害本数は2.5万本となっています。対策としては、植栽木を守るための防護柵や幼齢木保護資材の設置等を支援しています。

特用林産物の被害状況

作物名	令和4年次		
	獣名	被害本数・面積	被害金額
乾しいたけ	サル	1,500本	15.0万円
生しいたけ	サル	4,710本	66.1万円
クリ	サル	—	—
タケノコ	イノシシ	20本	0.4万円
計		6,230本	81.5万円

県産材流通課調べ

森林の被害状況

令和4年度			
被害原因	被害面積	被害材積	小径木等被害本数
カモシカ	47ha	17m ³	2.2万本
シカ	540ha	6,137m ³	0.1万本
クマ	56ha	1,510m ³	0.1万本
ノウサギ	1ha	0m ³	0.1万本
計	644ha	7,664m ³	2.5万本

県森林経営課調べ

○カワウ被害対策

カワウの被害は、アユをはじめとする内水面漁業において深刻な影響が及んでいることから、県内に点在するカワウの繁殖地における捕獲活動や、河川・漁場等において漁業協同組合や地域協議会等が行う調査・捕獲・追払い活動などの総合的な対策を支援しています。

○岐阜県コクチバス駆除総合対策の策定

岐阜県内でのコクチバスの生息は、平成 18 年に伊自良湖（山県市・長良川水系）で県内初確認（水抜きにより完全駆除）。平成 29 年に岩屋ダム（下呂市・木曾川水系）、令和元年に揖斐川（大垣市等・揖斐川水系）と生息域を広げ、令和 5 年 5 月には、美濃市内の長良川本川で確認（長良川本川では初確認）されました。

その後も長良川流域の他、県内各所で生息が相次いで確認されたことを受け、本県河川等内でのコクチバスの完全駆除の達成に向け「岐阜県コクチバス駆除総合対策」を策定（12 月）しました。（西坂ため池（郡上市）（10 月 3 日）、天池（美濃市）（10 月 27 日）及び寒洞池（各務原市）（2 月 16 日）は水抜きにより完全駆除）

長良川では令和 7 年度中の完全駆除、木曾川及び揖斐川では令和 8 年度中の完全駆除（岩屋ダムは低密度管理へ移行）を目指しています。

【主な駆除対策】

- (1) 生息実態の正確な把握
 - ・環境DNA分析によるモニタリング
 - ・ドローンや魚群探知機を活用した生息調査 等
- (2) 流域が一丸となって、全ての生息場所での駆除の実施
 - ・遊漁者等からの買取、繁殖地での稚仔魚の駆除
 - ・釣り大会の開催
 - ・電気ショッカーボートによる駆除 等
- (3) 多くの目で監視することによる密放流の防止
 - ・コクチバス密放流等対応マニュアルの作成
 - ・密放流・リリース禁止の広報・啓発 等



密放流・リリース禁止ポスター

○岐阜県コクチバス駆除対策推進協議会の設置

コクチバスによる生態系等への被害防止を目的とした駆除対策の具体的な施策の実施にあたり必要な協議を行うため、「岐阜県コクチバス駆除対策推進協議会」を設置しました（令和 5 年 12 月 26 日）。

また、その実行組織として、漁協、関係市町村、河川・ダム管理者等で組織するコクチバス駆除チームを長良川、木曾川、揖斐川の流域ごとに編成しました。

○電気ショッカーボートの命名式及び出陣式

県で初めて導入した電気ショッカーボート「清流ガード 1 号」のお披露目を行うとともに、出陣式としてコクチバス駆除作業専門チームによる電気ショッカーボートによる駆除活動を開始しました（令和 6 年 2 月 5 日）。



命名式及び出陣式

ジビエの利活用



○ジビエ利活用促進の取組み

鳥獣被害の軽減のため捕獲されたニホンジカ、イノシシをジビエ（野生鳥獣の食肉）として利活用する取組みを進めています。

県内産ジビエの安全・安心な提供体制を整備し、「森のごちそう」としてブランド化へつなげるため、ぎふジビエ衛生ガイドライン（平成25年11月策定。以下、「ガイドライン」という。）に則して解体処理された野生獣肉を取扱う事業者を登録する「ぎふジビエ登録制度」を平成27年11月に創設し、令和5年12月末現在で、118件の事業者・店舗を登録しました。

【ぎふジビエ登録制度 登録件数】

	H27 (H28.3)	H28 (H29.3)	H29 (H30.3)	H30 (H31.3)	R1 (R2.3)	R2 (R3.3)	R3 (R4.3)	R4 (R5.3)	R5 (R5.12)
解体処理施設	11	16	19	26	26	29	27	26	25
食べられるお店	36	45	51	65	73	72	74	74	74
県内	29	37	42	55	62	66	69	69	68
愛知県	6	7	8	8	8	4	3	3	4
東京都	1	1	1	2	3	2	2	2	2
買えるお店	0	1	1	6	8	12	15	15	15
加工品製造所	0	0	1	2	2	2	2	2	2
泊まれるお店	-	-	-	-	-	-	-	2	2
合計	47	62	72	99	109	115	118	119	118

※食べられるお店以外はすべて岐阜県内

※泊まれるお店はR4年度に新設

県農村振興課調べ

○森のごちそうの里づくり

ぎふジビエを県内外に広く情報発信するため、各地域でジビエ活動の拠点づくりを進めています。令和5年度は、獣肉処理施設整備への支援のほか、ガイドラインに基づく解体処理講習会や、首都圏のシェフ等を招いた解体見学・商談会、シカ肉を使った料理フェア等のイベント開催により消費者等へのPRを展開しました。

【主な取組み】

- 解体見学・商談会（R5.11.27～28、11.29～30）
 - ・首都圏における販路拡大を図るため、県内の解体事業者と首都圏の飲食店シェフ等との商談や解体処理見学会を実施。
- “森のごちそう”ぎふDeerフェア・首都圏フェア（R5.12.22～R6.1.31）
 - ・ぎふジビエの認知度向上や消費拡大を図るため、県内及び首都圏の飲食店において、県産シカ肉を使ったジビエ料理を提供するフェアを開催。
- ガイドラインに基づく解体処理講習会（R5.11.28、11.30、R6.2.7）
 - ・ぎふジビエ登録制度に登録している解体処理施設や新規登録希望者向けに、ガイドラインに沿った解体処理方法や衛生管理に関する講習会を実施。



ジビエ解体見学・商談会



ぎふDeerフェア（提供料理の一例）